

Dolby

LM100 放送局用ラウドネスメーター



Dolby LM100 ブロードキャストラウドネスメーターは、放送局のプログラムの中でダイアログの主観的な「うるささ」を測定するためのツールです。放送産業は長い間、プログラムやチャンネル間での「うるささ」の矛盾を解消するため、プログラムオーディオレベルを決定する簡単な方法を必要としていました。

LM100には、ポストプロダクションの品質管理から最終的な送信、プログラムターンアラウンド、およびケーブルヘッドエンド施設までに及ぶ応用が可能です。

LM100の特徴は、その革新的な計測技術である「ダイアログ・インテリジェンス」にあります。ほとんどのテレビ視聴者がプログラムやチャンネル間で、自分のリモートコントロールによってダイアログの通常レベルへボリュームを変更していることが証明されています。ダイアログインテリジェンスは、入力信号を分析してダイアログが存在する間にプログラムの「うるささ」のみを測定するために開発されました。これは、それらのプログラムの中でダイアログのレベルを定量化するために、より知的なツールをオペレーターに与えることとなります。

LM100の測定結果は分かりやすい数字のフォーマットで提示されます。これは伝統的なボリュームユニットかPPMメータ(そのどちらも主観的な「うるささ」を測定できない)を使用したとき、複数のオペレーターによって陥る不規則性を排除します。また、LM100は信号に関するアン・ウェイテッドピークと他のさまざまな情報を決定することができます。

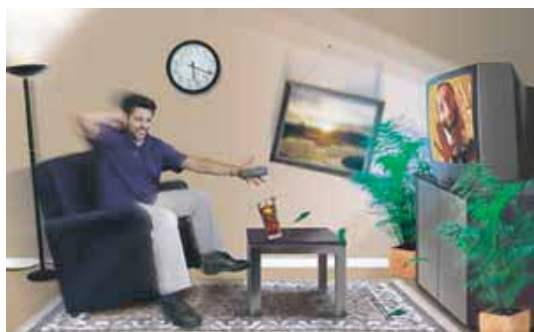
入力の損失、信号クリップ、オーバーモジュレーション、ハイまたはローシグナルレベル、無音、不当に設定されたダイアログレベル(dialnorm)値をオペレーターに知らせるため1セットのユーザ定義可能なアラームと監視機能を使用することができます。専用GPI/Oポートが、これらのアラーム条件のタリー信号を供給します。より広範囲なモニタリングがシリアルポートと内部イベントログを通じて利用可能です。

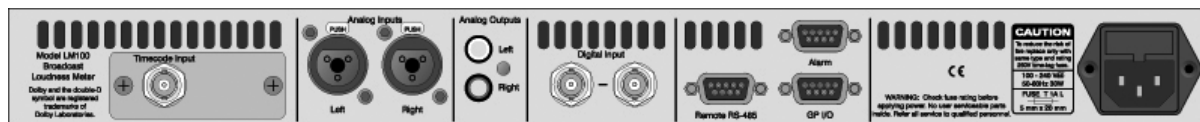
シングルラックスペースのLM100は、2つの測定値を示すことができる大きく、読み易いディスプレイを組み込んでいます。例えば、ユニットは同時に、直接比較のために実際の測定値にドルビーデジタルプログラム(または、Dolby E ビットストリームの中のどんなプログラムも)に入っているdialnorm値を表示することができます。また、フロントパネルには、故障、エラー、オーディオのアラーム状態を表示するLED、およびボリュームコントロール付きヘッドホンジャックが含まれます。

リアパネルには選択されたソースの2チャンネルの信頼性と信号プレゼンスをモニタリングするために一組のRCAコネクタが装備されています。

さらに1つのループスルーを伴ったAES3デジタル入力と2つのバランスアナログ入力(コンビネーション型XLR)コネクタが装備されています。

リモートコントロール用にフロントとリアにシリアルインターフェイスが用意され、ステータスログ及びソフトウェアアップデートに使用されます。





仕様

| | |
|----------------------|--|
| 基本測定アルゴリズム | Leq(A) (IEC 60804) |
| ダイアログインテリジェンスアルゴリズム | 特許申請中 |
| オーディオサンプリングレート | 32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 kHz |
| デジタルオーディオ入力 | BNC メス型コネクタ(ループスルー付き) 75 Ω アンバランス, AES-3ID-1995 (SMPTE 276M) |
| サポートフォーマット: | PCM データ up to 24 bits; Dolby E データサポート16-, 20-, and 24-bitモード 48 kHz; Dolby Digital (AC-3) データ32, 44.1, 48 kHz サンプルレート |
| アナログオーディオ入力 | 2 ノイトリックコンビネーション XLR/1/4-インチ TRSコネクタ, 電子バランス |
| 最大入力レベル: | +22 dBu |
| 入力インピーダンス: | 10 k Ω |
| ノミナルオペレーティングレベル: | ユーザ定義 |
| アナログオーディオ出力 | 2 RCAタイプコネクタ, アンバランス, ステレオ |
| 最大出力レベル: | 2 Vrms 10 k Ω ロード IEC 61938 |
| ヘッドホン出力 | 1/4-インチ標準ステレオヘッドホンジャック, レベル可変 |
| タイムコード入力 (LM100-LTC) | メス型BNC, アンバランス SMPTE 12M-1999 |
| シリアルリモートコントロール入力 | フロント: 8-ピンメス型ミニDIN コネクタ, RS-232 リア: 9-ピンメス型D-コネクタ, RS-485(SMPTE 207M) |
| アラームポート | 9-ピンメス型D-コネクタ, 0-5 V TTL レベル |
| ユーザ定義アラーム: | 入力クリップ検出, 過負荷変調, スレッショルドを超えたラウドネス, スレッショルドを下回る(サイレンス), ダイアログノーマライズ・スレッショルド, AES 入力欠落 |
| GPI/Oポート | 9-ピンメス型D-コネクタ, 0-5 V TTL レベル |
| 測定/分析 システム・ログ | 480 内部不揮発RAM内イベント登録 (シリアルポートを介して無制限イベント登録及び更新) |
| 要求電源 | 90-264 VAC, 50-60 Hz, 自動検出, 最大消費電力15 W; 中央制御電源管理設計 |
| 寸法及び重量 | 1-U ラックマウント: 44 x 483 x 375 mm ネット重量: 2.5 kg |
| 動作環境条件 | 動作可能温度: 0° ~ 50° C (32° to 122° F), 自然対流冷却, 0 ~ 98% 相対湿度(結露しないこと) |

コンチネンタルファーイースト株式会社 業務機器販売部

〒106-0032

東京都港区六本木3-18-9コンチネンタルビル TEL: 03-3583-8451 FAX: 03-5572-6742 E-mail: proaudio@cfec.co.jp